

第6回埼玉県競輪事業検討委員会 概要

- 日 時 令和4年9月16日(金) 14:00～15:30
- 場 所 大宮ソニックシティビル 701号室
- 出席者 岩崎康夫委員(委員長)、小川千恵子委員(副委員長)、小原千代委員
小沼航士委員、竹内春香委員、東角井真臣委員

■議事概要

1 会議の公開について

非公開とすべき情報は含まれないため、原則どおり公開とする。

2 議事

- ・埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について
資料を用いて説明

【委員からの主な意見】

(岩崎委員長)

- ・今年度はGI開催も含め、売上は増加傾向で順調に推移している。売上に貢献するGI開催を来年度も誘致したとのことだが、どのような働きかけを行ってきたのか。

(事務局)

- ・競輪最高会議(施行者の協議会、競輪実施団体、選手会の合議体)に2年連続開催によるコストパフォーマンス、遊園地やスポーツ団体との連携、障がい者アートへの取り組みなど、本県ならではの開催メリットをアピールした。

(東角井委員)

- ・今回実施したサービスセンターの改修は、将来大宮双輪場がなくなることを見越した投資なのか。

(事務局)

- ・競輪場に来ていただくお客さんを増やしたい、という意図で整備したのであり、競輪場がなくなることを想定しているわけではない。

(小川副委員長)

- ・改修したサービスセンターの有料席と一般席の違いは何か。有料席の利用状況は。

(事務局)

- ・有料席料金は300円、一般席よりいい椅子とマイテーブルが利用できる。有料席は好評であり、本日も場外発売を行っているが満席となっていた。

(小原委員)

- ・初心者向けのイベントを開催しているようだが、今後どのような団体を対象にしていくのか。企業等の福利厚生の一環で行うことはできないか。

(事務局)

- ・今回は、高齢の方々の団体に話をすることができた。企業の福利厚生という観点で競輪場に来ていただき、その方々がファンになっていただければ何よりなので、参考にさせていただく。

(竹内委員)

- ・インターネットでの車券購買層に、競輪場に来て生で見てほしい、とのことだが、どのような層をターゲットにしているのか。大宮や所沢など市町村との協力関係は。

(事務局)

- ・地域的なターゲットの設定はなかなか難しい。
年齢層としては、インターネット利用者である比較的若い層（30～40代）、及びリタイアされた高齢者の中でも比較的若い方々に、競輪場に来て観戦していただきたいと思っている。

(小沼委員)

- ・大宮双輪場は広場がだいぶ広くなったように感じ、クリーンな雰囲気が強くなった。大宮は公園の中、西武園も遊園地に隣接しており、両場とも近くに家族連れのお客様がいるので、そういった人たちが気軽に来ることができるようなところになったらよいと思うが、オールスター競輪の際にはやはり雰囲氣的に怖い方もいらっしやっただので、そこについては引き続き努力が必要かなと思う。
- ・オールスター競輪には、大宮アルディージャ、埼玉ブロンコス、埼玉ワイルドナイツと県内スポーツチームが3チーム出展した。今回の3チーム出展をきっかけに、他のチームも誘って、スポーツチーム全体で協力するという方法もあるのではないかと感じた。

(事務局)

- ・例えば、刺青がある方が入場した場合、すぐに駐在警察官や警備員から刺青が見えない形で観戦くださいと声掛けを行うようにしている。そういう地道な努力を積み重ね、安心して楽しんでいただける場を提供していく。

(東角井委員)

- ・プロスポーツの収入には、入場料や放映権料、グッズ販売など色々あると思うが、一般的にその大半はスポンサー収入が占めていると思う。スポンサーについてもらえれば、収益増につながると思うが、スポンサーをつけることはできないのか。

(事務局)

- ・企業との関係として、それぞれのレースに社杯を設定し、副賞を提供いただく代わりに社名等をレースの冒頭につけ、新聞やその他メディアに掲載するというをやっている。

(東角井委員)

- ・スポンサー以外にも、埼玉県が行っているので、競輪場で県内の観光案内とか、埼玉県全体が盛り上がるようなPR事業を実施するなど、競輪場の有効活用の仕方があると思うので、そういうことをぜひやっていただきたい。

(事務局)

- ・大宮双輪場のサービスセンター内で観光案内を実施しているところだが、もっと進めていくべきというご意見をいただきましたので検討させていただきたい。

(岩崎委員長)

- ・資料8ページの施設改修によるコンパクト運営の実現は、非常に良い。このコンパクトという言葉は、少子高齢化時代、まちづくりはコンパクトプラスネットワークで機能集約型の都市を作るというが、まさしく同じだと思う。先ほど東角井委員が言われたように、将来の利用形態を念頭に置いて、コンパクトな施設の改修などを行っていただければと思う。
- ・大宮にはナイター設備がない。資料によるとインターネットによる売上が上がっている。大宮へのナイター設備の設置について、環境面や収益面を踏まえて検討してはどうか。
- ・先日テレビで、さいたま市が非常に住みやすい都市という中で大宮が紹介されていた。氷川神社と周辺の森が良いことに加え、大宮公園が小さい子供連れの方に非常に好評だということであった。その理由の一つは小動物園。この小動物園は入場料無料で、子供たちと遊ぶのに規模感が丁度良いということ。さらに遊覧飛行機があるが、そのような施設が子供と遊ぶのによいという意見だった。先ほど小沼委員が言われたように、子供を対象にした施設を競輪場の空いたスペースに作り、子供を呼び込めるような部分があれば良いかなと思う。
- ・また、さいたま市がツールドフランスのクリテリウムを開催しており、外国から自転車ロードレースの有名選手が来県する。ロードレースと競輪は自転車競技という原点は一緒だと思う。海外の有名選手に競輪場に足を運んでもらい、魅力的なイベントなどができないのか。世界的に有名な選手にサインをもらうなど、聖地化できるような仕組みを考えたらどうか。さいたま市が主体であるが、共通の自転車を通して子供たちに夢を与えたいという観点から、何か工夫ができないか。

以上